競技規定

ワインディング部門

(1) 競技規定

ア . ノーパート、シンメトリー構成とする。
イ . ロッド（12mm以内）の本数は、60本以上とする。
ウ . ロッドは４種類以上使用し、から巻き（乾燥状態）をしてはならない。
エ . フロントからネープの方向に巻き、サイドは下方向に巻く。
オ . 巻く順序は自由とする。
カ . ロッドはベース内に収める基本巻きとする。
キ . 輪ゴムのかけ方は１本１重とし、ロッドの中央にロッドと平行になるように掛ける標準的なものとする。
ク . 水ぬらしの水にリンス剤を入れて使用してもよい。

(2) 器具・用具

ア . ワインディング用モデルウイッグ、クランプ等ワインディングに必要な用具を持参する。
イ . ペーパー（白もしくは淡色）、ロッド、輪ゴム（白）を使用すること。

(3) 整髪料　不可

(4) 競技時間　１年生：30分、2年生：20分

(5) 禁止事項

ア . 規定以外の用具は持ち込んではならない。
イ . モデルウイッグに印（点や線等）を付けてはならない。
ウ . モデルウイッグに薬液処理（パーマ・ヘアカラー等）を行ってはならない。
エ . モデルウイッグやクランプ等に目印となるものを付けてはならない。
オ . 事前審査中は、モデルウイッグをまっすぐに立て、後頭部を自分自身に向けて審査を受けなければならない。
カ . 原則、踏み台を使用して競技を行ってはならない。
キ . 競技終了の合図の後、作品に手を触れてはならない。ただし、審査のため、顔面の向きを変える場合を除く。
ク . 競技終了後は、モデルウイッグをまっすぐに立て、顔面を指定された一定方向に向けて審査を受けなければならない。
ケ . モデルウイッグは、人体モデルと同様に扱うこと。モデルウイッグの傾け角度は前後左右おおむね30度、回転角度は左右おおむね90度までとし、それ以上にしてはならない。
コ . 競技終了後、モデルウイッグおよびクランプ以外をすべて片付け、競技机の上や下に放置してはならない。
サ . 競技終了後、係員の指示に従い速やかに退場する。その際、作品に手を触れてはならない。

(6) 競技開始の状態

事前審査時間中に水ぬらしと根元から全体コーミングを行い、オールバックに梳かした状態とする。

競技規定

メンズCライン部門

(1) 競技規定

ア . モデルウイッグの毛髪の長さは、自由とする。

イ . 指定の配列（バックスタイル・C ライン。サイドは横スライス）であること。

ウ . 総体的にワインディングを行い、ロッドは 1 種類以上で 60 本以上使用すること。

エ . モデルウイッグの毛髪は、ぬれていてもよい。

オ . 水ぬらしの水にリンス剤を入れて使用してもよい。

(2) 器具・用具

ア . ワインディング用モデルウイッグ（メンズウイッグ）、クランプ等、その他必要な用具を持参する。

イ . モデルウイッグはプレカット済みのモデルウイッグで黒髪のものを使用すること。

ウ . ペーパー（白もしくは淡色）、ロッド（改造ロッドは可）、輪ゴム（白）を使用すること。
なお、現在市販されているロッドの改造は可とするが、色を変えてはならない。

(3) 整髪料　不可

(4) 競技時間　30分

(5) 禁止事項

ア . 規定以外の用具を持ち込んではならない。

イ . モデルウイッグに印（点や線等）を付けてはならない。

ウ . モデルウイッグに薬液処理（パーマ・ヘアカラー等）を行ってはならない。

エ . モデルウイッグやクランプ等に目印となるものを付けてはならない。

オ . 事前審査中は、モデルウイッグをまっすぐに立て、後頭部を自分自身に向けて審査を受けなければならない。

カ . 原則、踏み台を使用して競技を行ってはならない。

キ . 競技終了の合図の後、作品に手を触れてはならない。ただし、審査のため、顔面の向きを変える場合を除く。

ク . 競技終了後は、モデルウイッグをまっすぐに立て、顔面を指定された一定方向に向けて審査を受けなければならない。

ケ . モデルウイッグは、人体モデルと同様に扱うこと。モデルウイッグの傾け角度は前後左右おおむね 30 度、回転角度は左右おおむね 90 度までとし、それ以上にしてはならない。

コ . 競技終了後、モデルウイッグおよびクランプ以外をすべて片付け、競技机の上や下に放置してはならない。

サ . 競技終了後、係員の指示に従い速やかに退場する。その際、作品に手を触れてはならない。

(6) 競技開始の状態

事前審査時間中に水ぬらしと根元から全体コーミングを行い、オールバックに梳かした状態とする。

競技規定

アップスタイル部門

(1) 競技規定

ア . モデルウイッグの種類は自由とするが、毛髪の長さは50cmまでとする。

イ . 事前にオリジナルセットを済ませ、ローラーなどをはずした状態で根元から全体コーミングを行い、競技を開始する。ただし、事前審査時間内にローラーをはずすことは可とする。

ウ . ブロッキングを行う場合は、競技時間内に行うこととする。

エ . 顔面のメイクは自由とし(ストーン、タトゥー(絵)の使用は可とする)、メイクを施す場合は事前に行うこと。

オ . 使用可能なカラー剤は１色(ブリーチは可)とします。また、クリア剤の使用も可とします。

カ . ガス入りスプレーの使用は可とする。

キ . ピンとゴムは黒または透明とする。

ク . 競技開始前および競技終了後は、ダックカールクリップなど、仮どめ用のピン類をはずす。

(2) 器具・用具

モデルウイッグ、クランプ等その他アップスタイルに必要な用具を持参する。

(3) 整髪料　自由とする。

(4) 競技時間　30 分

(5) 禁止事項

ア . 規定以外の用具は持ち込んではならない。

イ . 著作権を侵害する作品(キャラクター等)は不可とする。

ウ . メイクは、顔面のみとし、首回りにメイクやストーン・タトゥー等を施してはならない。

エ . 事前に編み込みやベース作りをしてはならない。ただし、パーマ・ヘアカラー等の事前処理は可とする。

オ . 衣装およびアクセサリー等を一切付けてはならない。

カ . 大会会場において、電気器具類(ドライヤー、アイロン、コードレスアイロン、ホットカーラー等)は使用してはならない。

キ . すき毛を除くヘアピース、ポスティッシュ、エクステンション等、髪に類したものは使用してはならない。

ク . カラースプレーおよびラメスプレー 、ラメ入りワックスは使用してはならない。

ケ . 下敷きや、パネル状のような用具等を使用してはならない。

コ . モデルウイッグやクランプ等に目印となるものを付けてはならない。

サ . 事前審査中は、モデルウイッグをまっすぐに立て、後頭部を自分自身に向けて審査を受けなければならない。

シ . 原則、踏み台を使用して競技を行ってはならない。

ス . 競技終了の合図の後、作品に手を触れてはならない。ただし、審査のため、顔面の向きを変える場合を除く。

セ . 競技終了後は、モデルウイッグをまっすぐに立て、顔面を指定された一定方向に向けて審査を受けなければならない。

ソ . モデルウイッグは、人体モデルと同様に扱うこと。モデルウイッグの傾け角度は前後左右おおむね30度、回転角度は左右おおむね90度までとし、それ以上にしてはならない。

競技規定

ネイルアート部門

(1) 競技規定

ア . テーマは「Applause」～喝采を浴びる～見た人が元気になるような作品とする。

イ . 全国理容美容学生技術大会指定のネイルチップ（NFSナチュラルチップ#1、#2、#4）の中より５枚使用すること。

ウ . ネイルチップのカラーは、ナチュラルカラーとする。

エ . 5枚のネイルチップにカラーリングを施すこと。

オ . 5枚のネイルチップにアクリル絵の具（ネイルカラーも可）でフラットアートを施すこと。

カ . ネイルチップのシェープ（形）はスクエア・オフとする。

(2) 禁止事項

ア . 著作権を侵害する作品（キャラクター等）は不可とする。

イ . すべてのネイルチップに装飾（ピアス・テープ・シール・ホログラム・メタルパーツ類・ラメ等）を施してはならない。

ウ . 作品提出用のケースに着色、または模様を描く等、装飾を施してはならない。

エ . 3D・エンボスアートは不可とする。

オ . ネイルチップを長くして使用することは不可とする。

カ . ウォーターマーブル技法は不可とする。

キ . ベースカラーにアクリル絵の具の使用は不可とする。

ク . ベースカラーにラメ入りネイルカラーの使用は不可とする。

ケ . トップコートにマット系の使用は不可とする。

競技規定

ウィッグ フリースタイル部門

(1) 競技規定

ア . 相対的に 2cm 以上カットすること。

イ . 使用するドライヤーは、1200W 以下とする。

ウ . ダブルコンセントは禁止とする。

(2) 器具・用具

使用するウイッグは自由とする。その他、競技に必要なすべての用具の使用を認める。

(3) 整髪料

美容週間協賛メーカーのスタイリング剤を使用すること。

(4) 競技時間　30 分

(5) 禁止事項

ヘアアクセサリー、エクステンションは禁止とする。

競技規定

フォト部門

(1) 競技規定

ア . 人物が写っておりヘアメイクによって写真の美しさが表現されている作品であること。
イ . モデルの性別は自由、人数は 1 名とする。
ウ . 屋内・屋外での撮影のシチュエーションは自由とする。ただしヘアスタイル・メイクアップが明確に分かるものとする。
エ . カラー・モノクロは自由とする。
オ . 背景色は自由とするが、ヘアデザインが見やすい背景で撮影をすること。
カ . 写真のデータ形式は、JPEG で2MB 以上とする。
キ . 1 応募に対し、1 枚の作品を提出すること。
ク . 作品名を添えて提出すること。
ケ . スマートフォン、カメラで撮影をすること。
コ . WEB上で公開可能なモデルを使用しなくてはならない。

(2) 禁止事項

ア . 加工アプリでの撮影、および撮影画像（髪・顔）のレタッチ及び加工（加工アプリの使用等を含む）は禁止とする。
イ . 応募作品にテキスト、フォントの掲載は不可とする。
ウ . 著作権を侵害する作品（キャラクター等）は不可とする。
エ . 写真の背景に、著作権や肖像権に関わる建造物、建物、看板等を使用してはならない。また、第三者の写真、海外、美術品、衣装などの盗用、模倣は禁止とする。

(3) 注意事項

ア . 応募作品はオリジナル作品で、他のいかなるコンテストにも応募されていない、また今後も応募しない作品であること。
イ . モデルは20歳以上。20歳未満の場合は親権者の同意を必要とする。モデル（プロモデルも含む）への肖像権許諾書を各自用意し管理すること。肖像権許諾書のフォーマットは問わないが、美容週間ホームページより参考フォーマットをダウンロードし使用してもよい。
ウ . 応募作品は、主催者及び協賛メーカー等のホームページ、各種ＳＮＳ、業界紙、専門誌、その他広報物等に使用することがある。作品について、必ずカメラマン（本人でない場合）及び、モデルと著作権および肖像権について確認し、当団体の利用について同意を得る必要がある。
エ . 応募者は主催者に対し、非独占的に応募作品を使用できる権利及びこれを再許諾する権利を無償で付与するものとする。
オ . (エ)の使用等により知的財産権等の侵害により紛争が生じた場合は、応募者が解決するものとし、これにより主催者等に損害が生じたときは、これを賠償しなければならないものとする。